

school★idol★Diary～
輝きの軌跡～

HUG & CHERRY

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

浦の星女学院スクールアイドルAqours 彼女たちの日常を淡々と描く
コメディ有り パロディあり 申し訳程度のシリアスあり
なんでもありでお送りします

目次

初めまして!! A q o u r s です!!

1

かなりこ 部室でまったり | 4

ちかりこ お見舞い | 8

初めまして!! A q o u r s です!!

千歌「皆さん 初めまして!! 私達!!」

A q o u r s 「A q o u r s です!!」

曜「私達の日常を淡々と描く s c h o o l ★ i d o l ★ D i a r y の輝きの軌跡」

閲覧に当たって注意事項があります!!」

梨子「作者は一応アニメを一通り見てはいますが

キャラ崩壊を起こす場合がありますのでご了承ください!!」

花丸「後この作品は 銀魂 おそ松さん顔負けにネタのオンパレードです!!」

元ネタがわかる人ほど楽しめると思います!!」

ルビィ「この作品はSS方式で行くので基本地の文は出てきません

イメージし辛いと思いますがそこはご容赦願います」

善子「つちよ!! 私達の言うところは!!」

千歌「あ…考えてなかった…じゃあアドリブで!!」

善子「ええ!! え ええくつと さあ ヨハネと共に

混沌の世界へ!! ダイヤ!! パス!!」

ダイヤ「つちよ!? 振りが雑すぎますわ!! え えつと…

ノーコンティニューで…クリア致します お覚悟!!

うう…／／／／／やるんじやありませんでしたわ／／／／／

果南「ダイヤ…ご愁傷様…ダイヤ「まだ私死んでいませんわ!!」

え えつと…まあこんな力オスな小説だけどよろしくね♪」

鞠莉「hello everybody?

Our future achievement

Please expect it!

千歌「え? 鞠莉ちゃんなんて!」

果南「全部英語で言っただうすんの…(呆)」

千歌「えくこんな力オスなAqoursですが!! 皆様どうかよろしく

お願い致します!! それでは」

Aqours「アデュー!!」

曜「つてちよつと待った!! これこそ怒られるから!!」

梨子「○○○○(敢えて伏せます)怒らせたらこんな小説一瞬で炎上よ!」

果南「やろうって言い出したのは千歌だし…」シレー…

千歌「いや果南ちゃんも一緒に見てて面白そうだつて言っただじやん!!」

ダイヤ「もうこれじゃ話が進みませんわ!! 私が悪かったの持ってきましたから

それやりますわよ!!」

ルビィ「なんかちよつと不安…」

A q o u r s 「読者の皆…あなたの感情…開放してみない？」

ダイヤ以外のメンバー「いやこれもアウトだよ!!」

千歌「何自分の中の人の特撮によく呼ばれるからってさ!!」

どっかの番組じゃピースの中の人とカップルになつて

彼氏がダメダメですぐに別れちゃ」

梨子「ちよつとちよつと!! なにスカつとする番組の

話まで持ち出してるのよ!!」

善子「リリーそれ伏せてる意味ないほとんど言っちゃってる!!」

ダイヤ「私だつて好きであんな人と付き合ってるわけじゃ」

果南「ちよつとダイヤ…乗っからないでさらに話がややこしくなる…」

千歌「だあもう!! 仕切り直し!! 今度こそ真面目にやるよ!!」

A q o u r s 「読者の皆様!! こんな小説ですが 見捨てず最後までお付き合いくだ

さい!!

果南「……………」ジー……

梨子「あ……あの……なんですか？」

果南「梨子ってさ……綺麗な顔してるよね……」

梨子「はい!? / / / / い……いきなり何言い出すんですか!! / / / / /」ガタン!!

果南「もういきなり動かないの!!」ヒッパッテジブンノモトヘリコヲヒキヨセル

梨子（な……何この状況……果南さんすつごい落ち着いた表情してるし……可愛い……じゃなくって!!

なんで果南さんっていつもこうなの!?! / / / /

パーソナルスペースが近いっていうかなんというか……

!! そうだ……たまには私からも……)

スク……

果南「ちよつと梨子……なにいきなり立ち上が」

梨子「果南……」

果南「え!?! 梨子!?!」

タツタツタツ カベニオイツメラレルカナン

梨子「ねえ……」ドン!!

果南「ひう!?!」ビックウ!!

梨子「そんなに私をおちよくって…私が本気出したら…果南なんか…」

小娘同然なのよ?…」

果南「ちよ…ちよつと梨子…落ち着いて…目…怖い…」フルフル…

梨子「可愛い顔ね…その顔…もつと私に見せて…」

果南「あわわ…ダイヤア…鞠莉い…たすけてえ…」ウルウル…

梨子「何他の女の名前言うてるのかしら? そんな悪い子には…お仕置きしなくちやね…」

リコ「クチビルヲカナンニチカヅケル」

果南「ちよ／＼／＼／ ちよつと梨子!! 本当に待つて!! まだ心の準備が…」

梨子「…」プルプル…

果南「梨子?」

梨子「アツハハハハハ!! 果南さん可愛い〜!! ウブ丸出しでしたよ?」

果南「え? …え?」

梨子「いやあ…いつもやられっぱなしだからここぞとばかりにやり返したら

面白い反応見れちゃった♪ 気づかれないようにスマホで撮影してたから

後で千歌ちゃん達に…」

果南「りこおおおお!!!」ハグウ!!

梨子「え!? な 何!？」

果南「ばかあ…本気で怖かったんだからあ!!」ウワアアアン!!

梨子（あ ちよつとやりすぎた…いくら少女漫画であつた展開とは言え

ヤンデレ風に迫るのはやりすぎたかしら…でも…）

果南「りこお…やっぱりいつものりこじやなきややあだあ…」

梨子（こんな可愛い果南さんが見れたから結果オーライよね♪）

ちかりこ お見舞い

千歌（風邪引いて3日経つけどずっと熱も下がらないし辛いまんまだなあ…

A q o u r s の練習も出れてないし…）

ガチャ…

梨子「失礼しまゝす…氷取替えに来ました〜…」

千歌（あれ？…なんで家に看護婦さんが？ いつの間にか千歌病院に運ばれたの…？）

梨子（千歌ちゃんのお見舞いに行くって言ったら曜ちゃんが無理やりこの服を…

いくら雰囲気出るからって…まあいいや…

千歌ちゃん…まだ辛そうね…お粥とかそういうのを私が作ればよかったん

だけど…）

コオリヲトリカエハヤヲデテイコウトスル

千歌「ま…待って…」ギユ…

梨子「え!? 千歌ちゃん…? / / / / /」

千歌「看護婦さん…ちかを…ひとりにしないで…」

梨子「千歌ちゃん…：はいはい…：私こそそばにいるから大丈夫だよ♪」

千歌「えへへ…」

梨子（可愛い笑顔ね…：つてか私の事は看護婦さんと勘違いしたままなんだ…

まあこの格好なら仕方ないんだけどさ…）

千歌「ねえ…：ちかのかぜ…：なおる？」

梨子「ええ…：ちゃんと療養してればすぐ良くなるわよ…」

千歌「よかった…：ちかね…：がっこうのなかまとスクールアイドルやってるんだあ…」

梨子「へえ…」

千歌「まあ言いだしっぺのわたしがリーダーってことになってるんだけど

頼りない下っ端リーダーになっちゃってるけどね　アハハ…

さくしは遅いって友達からよく怒られるし…」

梨子（自覚はあったのね…）

千歌「でも…：らいぶで歌つてるとすごいきもちいいんだあ…

わたしたちがスポットライトを浴びて…：誰よりも輝いてるんだって…

だからわたしがやすんでみんなに迷惑かけるわけには…」

梨子「皆は千歌ちゃんが元気になって戻ってくるのを待ってるの…

だから今は風邪を治すことを考えよう？」

私からも皆に言つてあげるから…」

千歌「看護婦さん…ありがとう… ちか…そろそろ眠く… zzzzz」スー…スー

…

梨子「あらら…寝ちやつたわね…」

(しかしさっきの…風邪で意識が朦朧としてたから思わず本音が出ちやつたのね

…

千歌ちゃんには私達だつて感謝してるのよ？ 半ば無理やり誘われたけど

A q o u r s の皆と一緒に足掻いて 廃校を阻止して A q o u r s の名前

が

残つて…そうだったのは千歌ちゃんのおかげなんだよ？…

千歌ちゃんは皆の事を誰より見てた

私がピアノで悩んでたことも

曜ちゃんが幼馴染として悩んでいることも

ルビイちゃんも本当は誰よりもスクールアイドルに憧れてたこと

よつちちゃんが本当は堕天使を捨てたくなかったことも

花丸ちゃんがルビイちゃんの為に自分を押し殺してたことも

ダイヤさんがルビイちゃんにきつく当たつて姉として苦悩していることも

鞠莉さんが理事長の責任に押しつぶされそうになってたことも

果南さんが鞠莉さんの未来の為に昔のAqoursを終わらせるという決断をしたことも…

そんな千歌ちゃんが皆の為に奔走してくれたから 今のAqoursがあるんだよ…?」

梨子「千歌ちゃん…リーダーとして…本当にお疲れ様…」

千歌「さあ…いくよ…Aqours…」ネゴト

ちかりこ「サンシャイン…」